

第39回日本パラ水泳選手権大会実施要項  
(世界パラ水泳連盟(WPS)公認大会)

1 目的

本大会は、指定地域大会等で参加標準を突破した全国の障がい者が、日本一を決定する国内最大の水泳競技大会である。この大会において自己の有する能力に挑戦し、社会へ参加する意欲を大いに喚起するとともに障がい者のスポーツ振興を図ることを目的とする。また、水泳競技の魅力を知ってもらうとともに競技力の向上に資する。新型コロナウイルス感染症の影響をうけ、特別な対応ならびに感染症拡大防止策に基づいて開催する。

2 大会名

第39回日本パラ水泳選手権大会

3 主催

一般社団法人日本パラ水泳連盟(以下「JPSF」という)

4 主管

第39回日本パラ水泳選手権大会実行委員会

5 後援

スポーツ庁、厚生労働省、内閣府、(公財)日本パラスポーツ協会、(公財)日本水泳連盟、(社福)日本身体障害者団体連合会、(社福)全国社会福祉協議会、長野県、長野県教育委員会、長野市、長野市教育委員会、(公財)長野県障がい者スポーツ協会

6 協力

(一社)長野県水泳連盟

(一社)日本知的障害者水泳連盟(以下「JFSP」という)、(一社)日本デフ水泳協会(以下「JDSA」という)  
長野県障がい者福祉センター「サンアップル」、長野県パラ水泳協会

7 協賛

(株)フジタ、あいおいニッセイ同和損害保険(株)、(株)ゴールドウイン、味の素(株)、  
(株)大和証券グループ本社、三菱商事(株)、DHL サプライチェーン(株)、タキロンマテックス(株)、  
ヤマハ発動機(株)、(株)グローリアツアーズ

8 期日

2022年11月12日(土)～13日(日)  
(2022年11月11日(金)13時～公式練習・クラス分け)

9 会場

長野運動公園総合運動場 総合市民プール(通称『アクアウィング』)  
(50m×10レーン、水深2m)、水温28℃±1℃  
[https://www.aqua-wing.jp/facility/index\\_pool.html](https://www.aqua-wing.jp/facility/index_pool.html)

10 競技方法

- (1)個人種目は、男女別に行う。
- (2)個人種目は、エントリータイム順で組分けし、すべてタイムレースとする。
- (3)リレーは、予選と決勝を行う。
- (4)順位は一般・シニアそれぞれのクラス毎に集計・掲示され入賞者にメダルが授与される。

11 競技種目

別紙【2】「競技種目一覧表」による。

12 競技規則

本大会は、世界パラ水泳連盟(以下「WPS」という)公認大会(予定)であり、最新のWPS競技規則および本大会要項等のもとで行われる。ただし、S21/SB21/SM21の選手については、障がいの状態によって適用事項または泳法例外コードが判断される。またS15/SB15/SM15の選手はFINA規則が適用される。

### 13 参加資格および制限

\*日本知的障害の選手は別紙【4】による。

\*当連盟の登録選手ではない JDSA 所属の選手は、JDSA から推薦を受けた選手とし、オープン参加とする。

\*以下は JPSF 登録選手のみとする。

#### (1) 参加資格

個人種目は、下記の①②③を満たす者。または①を満たし、④に該当する者。

①2022 年度 JPSF 登録者。

②肢体不自由者および視覚障がい者は、エントリー時に JPSF が認めた競技クラスを持っている者。

③下記の大会において、申込種目すべてが別紙【3】の参加標準記録に達している者。

##### ▶2021 年度

・第 35 回関東身体障がい者水泳選手権大会 (2022 年 1 月 10 日)

・2022 パラ水泳春季記録会 (2022 年 3 月 5 日～6 日)

・2021 年 12 月～2022 年 3 月までに開催された WPS 公認大会

##### ▶2022 年度

・第 32 回東北身体障がい者選手権水泳競技大会 (2022 年 6 月 5 日)

・第 26 回中国四国身体障害者水泳選手権大会 (2022 年 6 月 5 日)

・2022 関東パラ水泳記録会 (2022 年 6 月 5 日)

・第 33 回近畿身体障がい者水泳選手権大会 (2022 年 6 月 19 日)

・第 33 回九州障がい者水泳選手権大会 (2022 年 6 月 19 日)

・第 29 回中部障がい者水泳選手権大会 (2022 年 7 月 10 日)

・横浜国際プール 第 1 回インクルーシブ水泳競技大会 (2022 年 7 月 17 日～18 日)

・2022 年度夏季東北パラ水泳選手権大会 (2022 年 7 月 30 日)

・2022 ジャパンパラ水泳競技大会 (2022 年 9 月 17 日～19 日)

・2022 年度に開催された WPS 公認大会

・2022 年度に開催された各都道府県水泳連盟主催大会・マスターズ大会 (記録を証明する資料の提出が必要)

④JPSF から推薦を受けた者。

#### (2) 制限

①個人種目は、1 人 2 種目以内とし、リレーは含まない。ただし、9 月 21 日 (水) 申込み締切日に国際パラリンピック委員会 (以下 IPC とする) ライセンス登録をしている選手については、標準記録に達している 4 種目まで参加可能とする。なお、400m 自由形は IPC ライセンス登録者のみ出場できる種目とする。

②リレーは、登録団体対抗とし、1 団体 1 種目 2 チーム以内とする。また、リレーに出場するチームの選手は個人種目に参加し、競技クラスを持っている選手とする。

#### (3) 留意事項 (状況によって変更となる場合があるので、経過はホームページで確認すること)

①今大会は有観客大会とするが、基本的には政府や開催地の新型コロナウイルス感染症対策、関連団体の感染拡大予防ガイドライン、スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン (スポーツ関係の新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインについて:スポーツ庁 ([mext.go.jp](https://www.mext.go.jp)))に沿って行い、その他の事項については、2 次要項またはウェブサイトに掲載する。

②シニア部門(大会 1 日目現在で満 50 歳以上の方)について

ア)種目は、50mの自由形・背泳ぎ・平泳ぎ・バタフライの 4 種目を実施する。

イ)一般の部の参加標準記録を達成している場合は、一般の部・シニアの部のいずれかを選択して出場することができる。

③大会で実施する各リレーは、28 ポイントリレーと 38 ポイントリレーとする。なお両ポイントリレーに、同一選手は参加することはできない。

14 アンチ・ドーピング(以下、JADA からの注意喚起文による)

- ・本大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。
- ・本大会参加者は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程に従い、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。
- ・知的障害者及び大会期間中現在で未成年者(18歳未満)については、ドーピング検査を含むドーピング・コントロール手続に対する親権者からの同意書を持参しておくこと。

詳しくは <https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html> にて確認し、同意書を準備して参加すること。

- ・本大会参加者は、本大会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。

- ・公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイトにあるアスリートサイト (<https://www.realchampion.jp> 当連盟の HP からでもアクセス可能) にて詳細まで確認して参加すること。参加する選手等は HP にてアンチ・ドーピング活動に関するお知らせが掲載される場合があるので内容を確認して参加すること。

15 クラス分け

2022年11月11日(金)13:00～(予定) ※受検可能な選手には別途通知する。

16 表彰

- (1)男女別、種目別、およびリレー種目で1位、2位、および3位の選手にメダルを授与する。ただし、参加申込者が2名(チーム)までの種目は1位のみ、3名(チーム)の種目は2位までにメダルを授与する。
- (2)リレー優勝チームには優勝トロフィー等を授与する。
- (3)完泳者全員に記録証を発行する。
- (4)この大会の記録は、クラス毎に結果を反映させて JPSF の記録として公認される。リレーの第1泳者のタイムは公式記録として取り扱わない。
- (5)日本記録は個人種目で、ステイタスが J、JR、JR 西暦年、R、R 西暦年、C である場合を対象とする。リレーは本大会のみの競技であるため、大会記録のみを対象とし、日本記録の対象にはしない。
- (6)オープン参加の選手は表彰の対象とはしない。(JDSA 経由で申込みしている選手を含む)

17 日程(予定)

2022年11月12日(土) 受付 8:30 練習時間 8:40～9:50 開始式 10:00 競技開始 10:10

2022年11月13日(日) 受付 8:30 練習時間 8:40～9:50 競技開始 10:00

※競技日程※

競技順序	
11月12日(土) 〈1日目〉	11月13日(日) 〈2日目〉
開会 10:00	競技開始 10:00
競技開始 10:10	23 4×50m フリーリレー 28p 予選
1 女子 400m 自由形	24 4×50m フリーリレー 38p 予選
2 男子 400m 自由形	25 女子 200m 自由形
3 女子 200m 個人メドレー	26 男子 200m 自由形
4 男子 200m 個人メドレー	27 女子 100m バタフライ
5 女子 150m 個人メドレー	28 男子 100m バタフライ
6 男子 150m 個人メドレー	29 女子 100m 背泳ぎ
7 4×50m メドレーリレー 28p 予選	30 男子 100m 背泳ぎ
8 4×50m メドレーリレー 38p 予選	31 女子 50m 平泳ぎシニア

9 女子 50m 背泳ぎシニア	32 女子 50m 平泳ぎ
10 女子 50m 背泳ぎ	33 男子 50m 平泳ぎシニア
11 男子 50m 背泳ぎシニア	34 男子 50m 平泳ぎ
12 男子 50m 背泳ぎ	35 女子 50m 自由形シニア
13 女子 50m バタフライシニア	36 女子 50m 自由形
14 女子 50m バタフライ	37 男子 50m 自由形シニア
15 男子 50m バタフライシニア	38 男子 50m 自由形
16 男子 50m バタフライ	39 4×50m フリーリレー 28p 決勝
17 女子 100m 自由形	40 4×50m フリーリレー 38p 決勝
18 男子 100m 自由形	
19 女子 100m 平泳ぎ	閉会式
20 男子 100m 平泳ぎ	
21 4×50m メドレーリレー 28p 決勝	
22 4×50m メドレーリレー 38p 決勝	

注：申込状況などにより、一部変更することがある。

#### 18 前日練習

2022年11月11日（金）13:00～17:00 ※クラス分けを行うレーンを除いた専用レーンとする。

#### 19 免責事項

- (1)参加者の健康管理は、本人の責任とし各自十分注意すること。
- (2)会場における事故などについては応急処置のみとし、その他の責任は負わない。

#### 20 申込規定

この大会の申し込みは、デジエントリー方式で行う。

JPSF 登録者および JSFP 登録者は、直接、デジエントリーで申し込むこと。JDSA 登録者は、JDSA の担当者を通して申し込むこと（JDSA 担当者より別途連絡する）

- (1)申込先：デジエントリー（株式会社デジサーフ）経由で一般社団法人日本パラ水泳連盟とする。
- (2)問合せ：下記の Fax または Email にて問い合わせること。

Fax：078-855-6685（第39回日本パラ水泳選手権受付）

Email: jpsf-moushikomi@paraswim2.jp

- (3)参加費：個人種目 1人1種目 2,000円 リレー種目 1チーム1種目 3,000円  
参加費の納入はデジエントリー入力時に、振込み手続きをする。また、一旦納入された参加費は、主催者の責による事由で記録会を中止した場合以外、原則として返金しない。
- (4)申込期限：2022年9月21日（水）\*締め切り後の追加申込・変更等は受け付けない。
- (5)その他：プログラム・スタートリストを参加選手1人につき1冊無償で配布する予定。

#### 21 個人情報の取り扱い

主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、主催者が定める「個人情報保護取扱規程」に基づき取り扱う。なお、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、その他競技運営及び水泳競技に必要な連絡等に利用する。

#### 22 その他

- (1)この大会での介助者等（タッパー、入退水介助者等）は各自で準備すること（WPS 競技規則で介助を認められている者のみ可）
- (2)水着については、原則として FINA 及び WPS の規則に従うこと。
- (3)本大会では、ユーチューブによる中継をする。誰もがインターネット等で競技を見ることができていることを理解の上、参加すること。

- (4) 上記(3)以外にも主催者や主催者が承認した報道機関に撮影・録音され、報道されることがあることを理解の上、参加すること。
- (5) 主催者側で撮影・録音した肖像は JPSF の広報活動や教育教材として使用することがあることを理解の上、参加すること。
- (6) 監督会議は行わないので、ホームページに掲載される注意事項を良く読んでおくこと。また、当日必要な連絡事項は、場内放送とともに会場に掲示する。
- (7) 車椅子の貸し出しはないので、必要な場合は各自用意すること。
- (8) 競技中は安全を第一に行う。大会に参加する選手は、健康体であり、大会の参加に備えてトレーニングを十分に行っていること。障がい以外に高血圧症、心臓病等の持病がある場合は主治医に競技参加の許可を得て出場すること。健康状態において、競技続行中止の命令が出た場合は速やかに競技を中止すること。
- (9) 選手待機場所は観覧席および観覧席裏の通路とする。
- (10) その他、大会の開催について必要な事項は、第 39 回日本パラ水泳選手権大会実行委員会が定める。